



CGC横芝ボランティアクラブ ゴルフを通じて福祉に貢献

町体協ゴルフ部がボランティアを募集中

町体育協会ゴルフ部では、ゴルフを通じて福祉に貢献できればと、『CGC横芝ボランティアクラブ』を発足させました。

このクラブは、横芝町にあるカレドニアン・ゴルフクラブ（CGC）で開催される大会の運営にボランティアとして参加し、それによって節約できた経費や募金などを福祉に役立ててもらおうと組織されたものです。

ゴルフ愛好者のほか、ゴルフを知らない人でも参加できますので、ぜひお申し込みください。

ボランティアとして登録された方にはさまざまな特典があります。申し込みとお問い合わせは、海洋センター（☎5700）へ。

おしゃれと恋を忘れない

寿学級講演会

「余生でない明るい余生を送る高齢者の生きざま」をテーマに6月30日、寿学級講演会が開かれました。

講師は、ふるさと交流文化研究所長の松井安俊先生。先生は、お年寄りが口にする“余生”は、『余生でなく与生』だ、楽しく生きなければ人生じゃないと力説。そのためには、おしゃれをする心を忘れない、恋をすることで若さを保とう。ふだんから、いろいろな人と接することが人生を楽しくする秘訣だと講演され、参加した150名の寿学級生は、これからの与生に期待を膨らませた様子で熱心に聴き入っていました。



うした子どもたちでも校外でのあいさつはなかなかできまい、それが当たり前だろうーと思っていました。その見方は見事にひっくり返されてしまったのです。

と申しますのは、文化会館へ来た子どもたちにそれを発見したのです。図書室を訪れた子ども、期末テストの勉強をするのだと学習室を借りに来た子どもたちの中にすずやかな目を相手にしっかり向け、「こんにちは」と歯切れのいいあいさつが返っ

あいさつは心の掛け橋

さわやか子どもに拍手!!

社会教育指導員・伊藤はる

あなたのお子さんはあいさつができませんか。

今回は、明るくあいさつのできるさわやかな子どもに焦点をあて、みなさんとともに拍手を送りたいと思います。

町内の小・中学校では、先生方に対しては申すまでもありませんが、学校を訪れた人にまで、子どもたちからは「おはようございます」「こんにちは」と明るくあいさつが聞かれ、感心させられています。

しかし、私は、こうした子どもたちでも校外でのあいさつはなかなかできまい、それが当たり前だろうーと思っていました。その見方は見事にひっくり返されてしまったのです。



てきたからです。

これを読み、「ああ自分だな」と思い当たる子どもがいるはず。そう、あなたたちのことなのです。あなたたちのあいさつの中に、あなたを育ててくれている家庭の温かさ、すばらしさが見えるのです。

その家庭で、朝は「おはようございます」と交わす晴れやかな声が想像できます。そして、あいさつから生まれるやさしい心にふれた思いがしてきます。

あいさつは、人と人との心の掛け橋です。明るくあいさつのできるあなた、あなたに……改めて拍手を送ります。